

これまでの振り返りと
川口中学校区地域づくり推進会議の
今後の進め方

1 これまでの振り返り

今年度、取り組んでいきたいこと

- ① 地域において抱えている課題への対応 **【優先】**
- ② 「地域自治モデル」の検討

しかし、現状は…

- ① 推進計画に掲げるアクションプランに基づき、部会で取組を進めているが、さまざまな問題も見つかってきている。
- ② 「地域自治」がイメージしづらく、議論していくことが難しい。

1 これまでの振り返り

① 地域において抱えている課題への対応【優先】

推進会議の役割・機能を整理して、**地域において抱えている課題へしっかりと対応できる体制**を整備

□ 推進会議の役割・機能

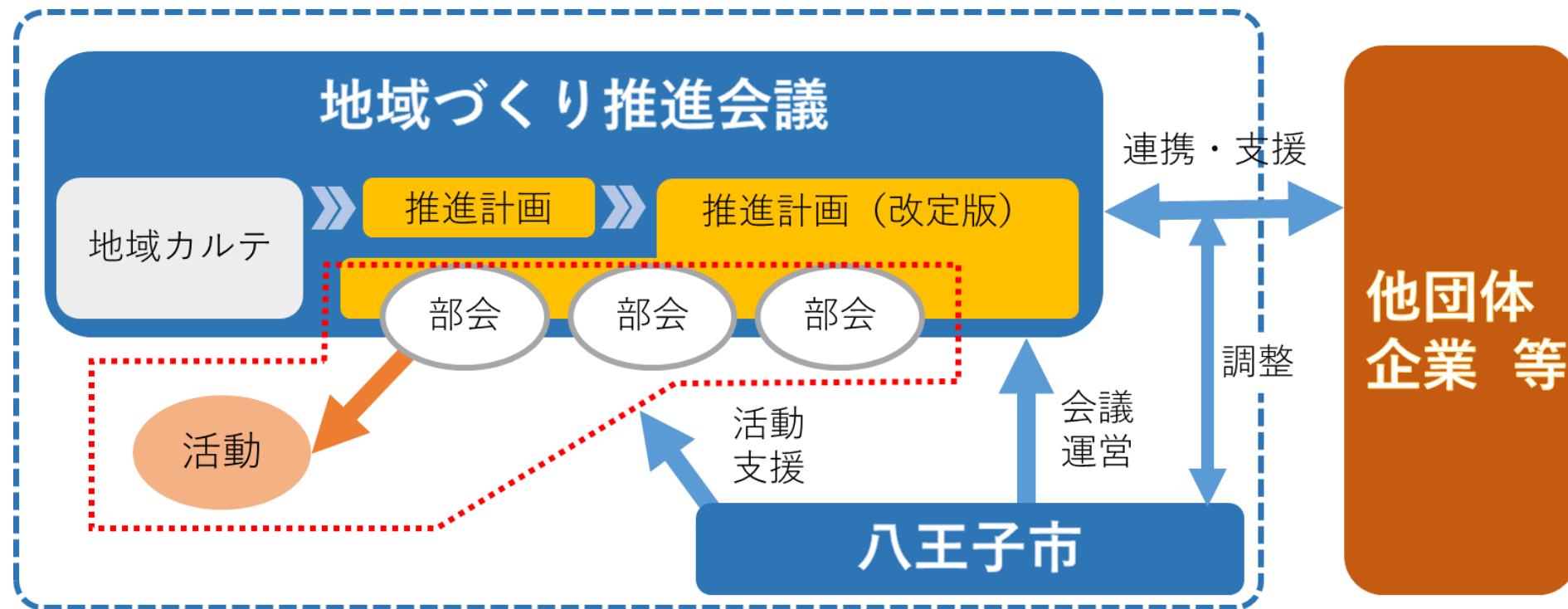
- 参加団体間の連携・調整・補完・情報共有
- 行政との連携・調整・相談・検討

□ 課題へしっかりと対応できる体制

- 「地域づくり認定団体制度」

推進会議の役割・機能について

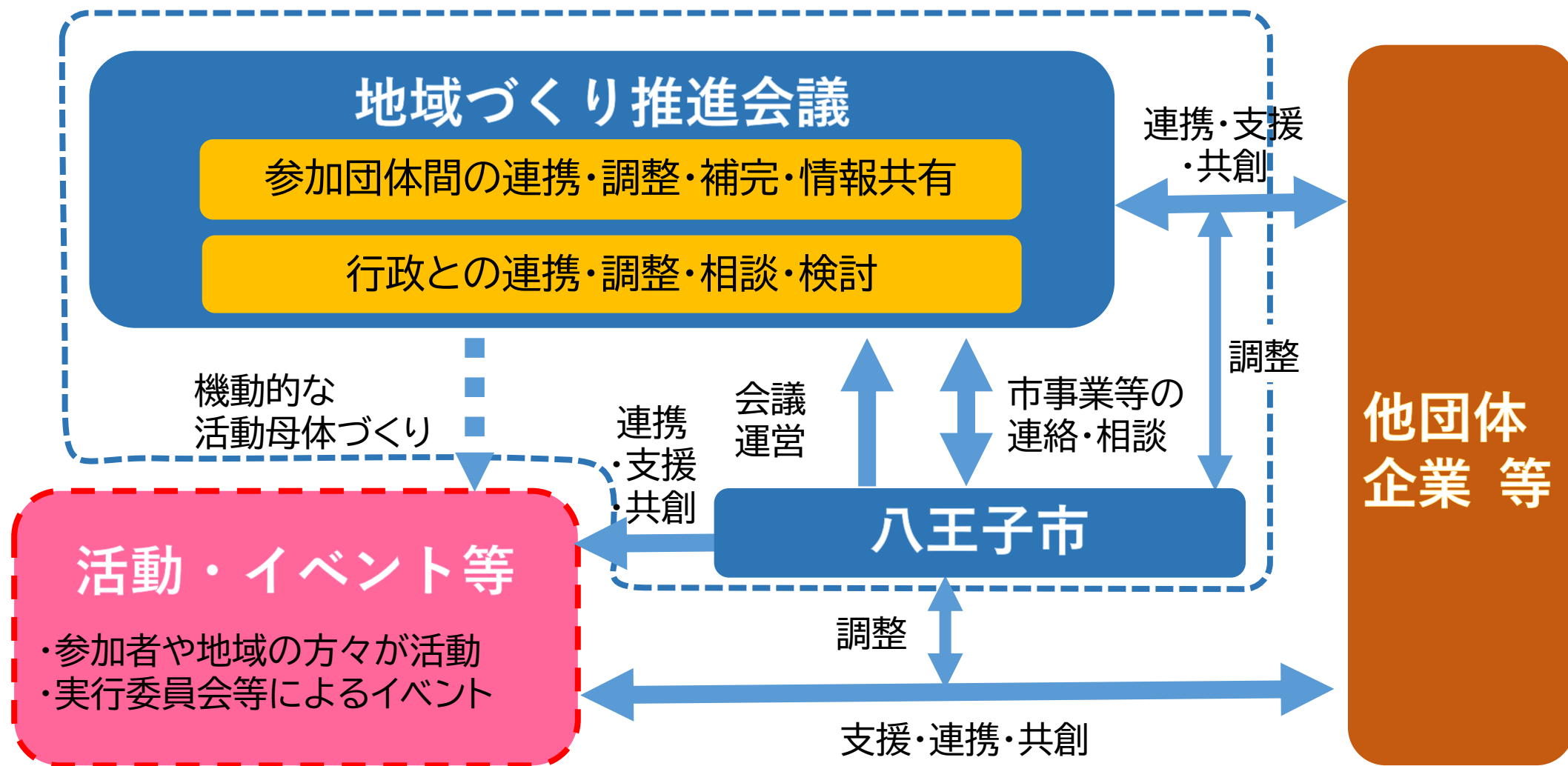
これまでの推進会議の姿と見えてきた問題



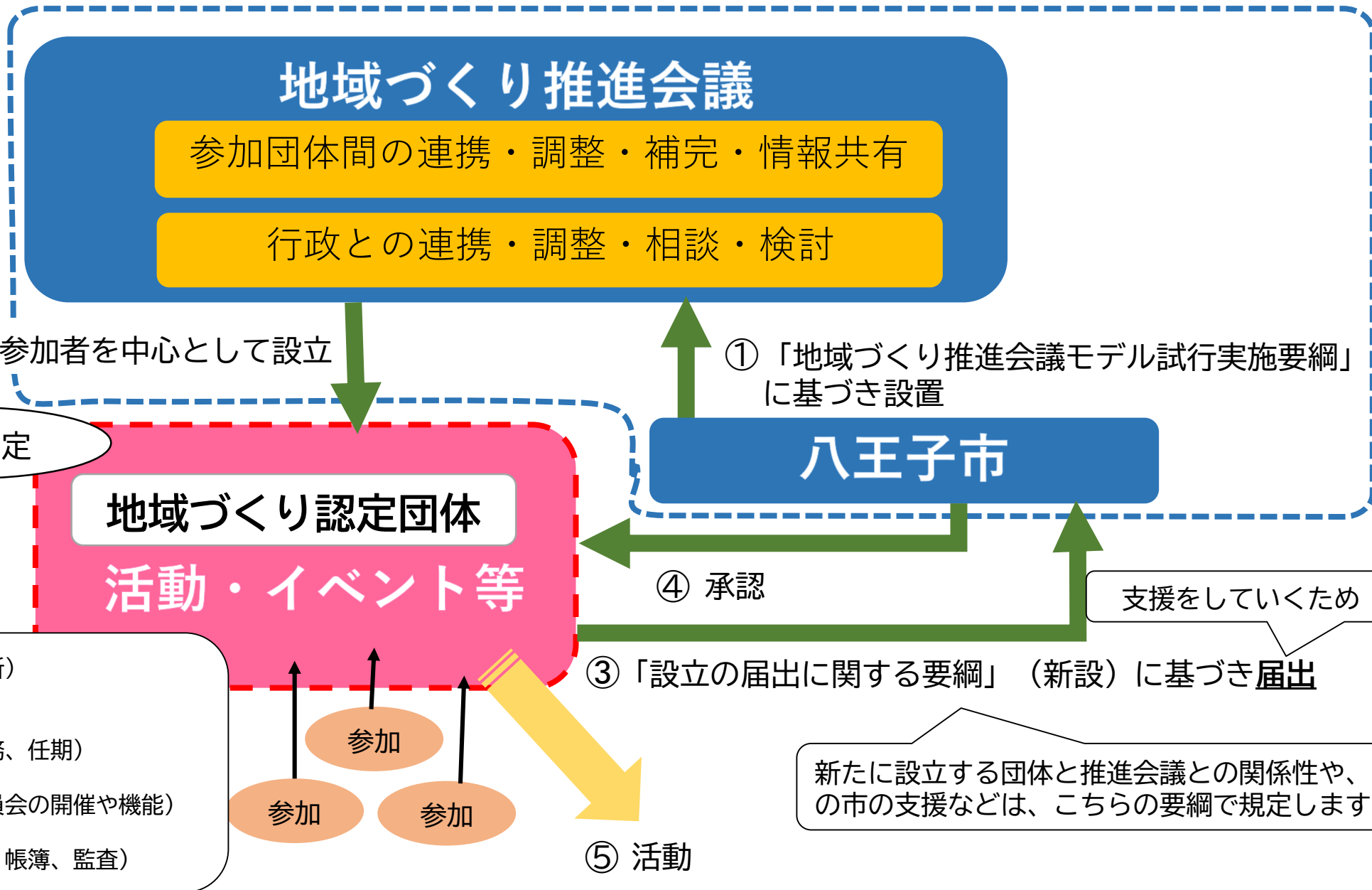
見えてきた問題

- ・ 活動収支の管理（預金口座・管理ルール）
- ・ 推進会議全体と部会活動の関わり
- ・ 行政課題の共有が不十分
- ・ 推進会議 「全体会参加者」 ≠ 「部会参加者」
- ・ 補助金等を活用した活動支援の課題
- ・ 「地域カルテ」のさらなる活用
- ・ 「推進計画」の理解・共有、APの作り方
- ・ 「部会」のあり方

見えてきた問題を解消する推進会議の新たな体制

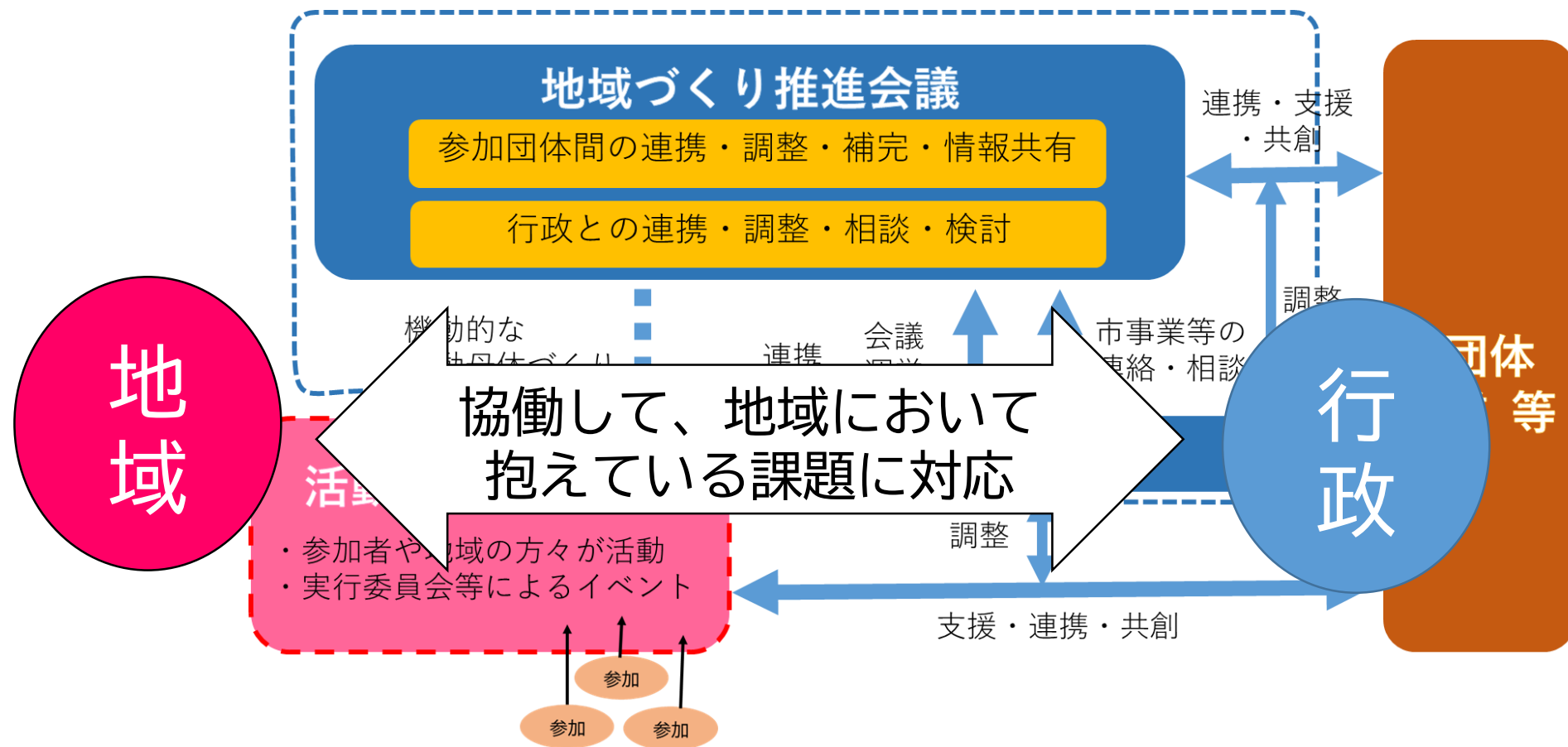


(参考) 新たな体制における要綱・会則等の関係



新たな体制による地域づくりのさらなる推進

団体（ピンク色）をしっかりと機能させ、**地域の多様な活動団体や住民同士、地域と行政が協働していくためのしくみを構築することが、地域において抱えている課題に対応していくために必要。**



1 これまでの振り返り

② 「地域自治モデル」の検討

課題へしっかりと対応できる体制を構築することが優先

⇒この体制をみんなで検討して、実現していくことも、
「川口中学校区版の地域自治」の一つのスタイル

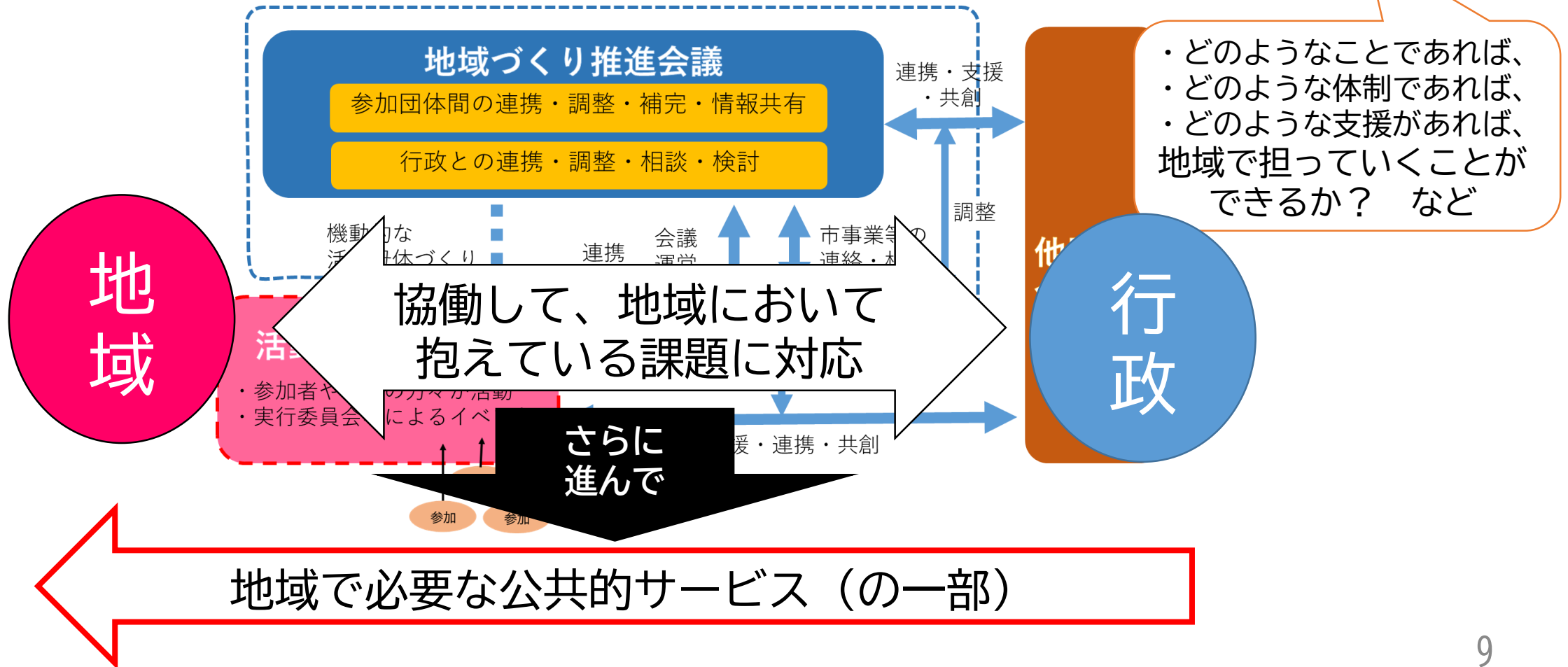


地域自治とは（八王子未来デザイン2040）

地域のことを自分たちで考え、ともに行動すること
ことでみんなの幸せを実現すること

新たな体制による地域づくりのさらなる可能性

地域において抱えている課題への対応だけでなく、**必要な公共的サービスの一部を地域で担えるかなど将来的な可能性**についても、引き続きモデル地区として検討にご協力いただければと考えています。




2 今後の進め方

今年度の目標

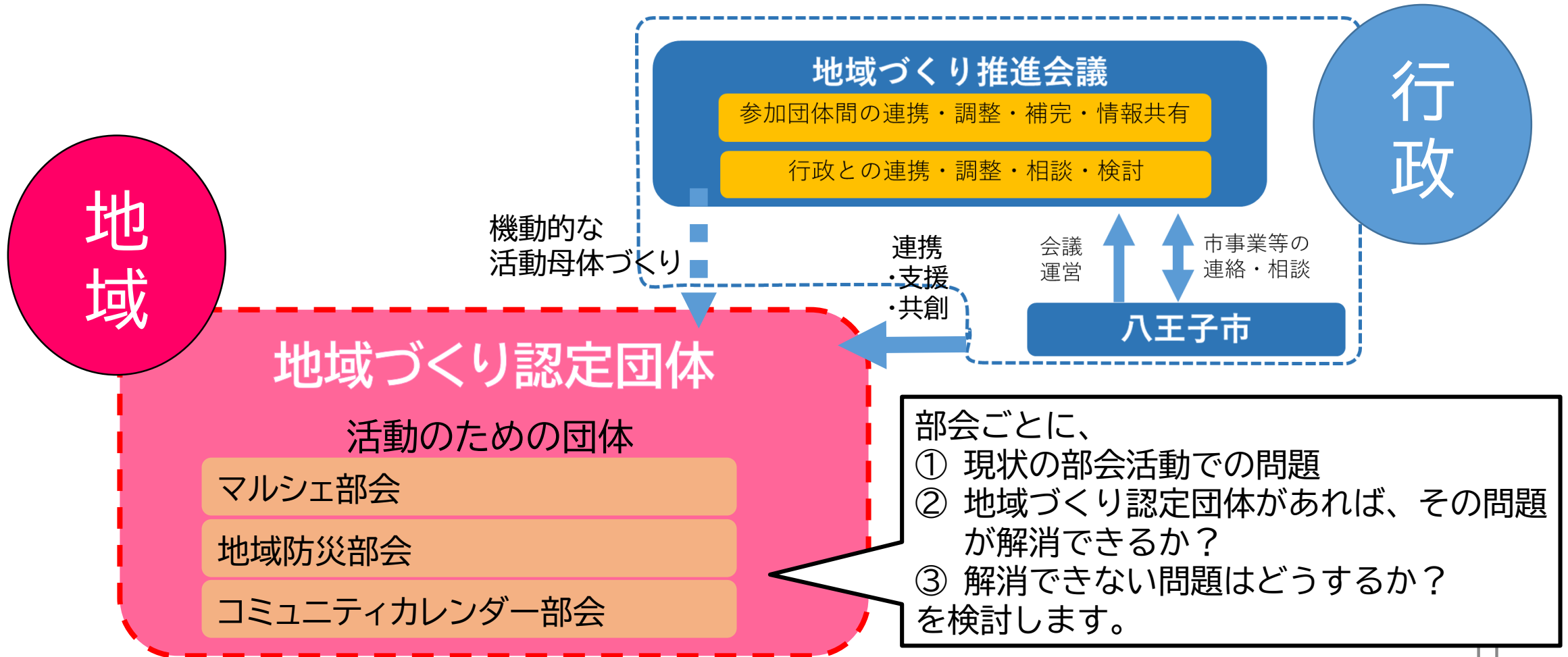
推進会議の取組をもとに活動できる組織（＝地域づくり認定団体）を設立し、課題へしっかりと対応できる体制を構築する。

<そのために、皆さんに議論・検討していただくこと>
市が用意する「地域づくり認定団体制度」があれば、

- 
- ① 今まで推進会議の部会で活動する中で見えてきた問題は解消できるか？
 - ② 推進計画に掲げた課題にしっかりと対応できるか？
(対応していくためには、何が必要か？)
 - ③ 地域づくり認定団体は、どのような組織にするか？(会則、メンバーなど)

3 今日話し合いたいこと

① 地域づくり認定団体があれば、今まで推進会議の部会で活動する中で見えてきた問題は解消できるか？



部会名

- 1 これまでの推進会議における部会活動
で見えてきた問題
※行政内部の位置づけにおける活動

(例)

SNSで情報発信を行う際に、その都度、市の確認が必要で、素早く発信が行えなかった。

- 2 地域づくり認定団体で行った場合はどうか
※行政外部の団体における活動

会則に位置づけた活動の範囲で、自由に情報発信が行える。

- 3 その他
(それでも難しいこと、どうすればできるか)

情報発信するためのスマホもしくはパソコンが必要。⇒資金を確保して購入する。

